

# 新商品のご紹介

多種多様の車両に対応できるパンタ式リフト「ファンタスIIシリーズ」に新モデルが登場

**ファンタスIIプラス BSC35KUVL**  
**ファンタスIIベーシック MBSC32KUVL**

受台:2ウェイ式  
 (スイングアーム+プレート)



**ファンタスIIプラス**  
 国産初!能力UPした新時代へのパワフルモデル  
 能力:3.5t

**ファンタスIIベーシック**  
 アームの昇降が手動式のシンプルモデル  
 能力:3.2t

## 身体負担を軽減する電動式! 小型タイヤリフター

ATL-60EG 特許取得済み

適応タイヤ径  
 560~810mm  
 (乗用車~SUV車)

- 上昇スピードは無負荷時で最低位(50mm)から最高位(1,200mm)までわずか4秒
- フローティング機構と回転フォーク搭載で穴位置合わせが簡単
- タイヤローテーション時にタイヤを床置きせず作業がおこなえる、タイヤパレットやローテーション台車も用意(オプション)



## インパクトバランサーで省力化! 立ち姿勢のまま作業可能 昇降式インパクトハンガー

NRH-H

- 重たいインパクトレンチも上下左右にラクに操作可能
- 重量6~18kgのインパクトレンチに対応
- ハイタイプのホイールドローリーと組み合わせることさらに作業性向上



### TOPICS



ご来場お待ちしております!

ジャパントラックショー 2026 に出展いたします

ピット工事不要で、クイック整備に最適な移動式リフト「モバイルコラムリフト」や、社会問題となっている「タイヤ脱輪防止機器」、「省力化機器」や「安全対策商品」など、お客様の悩みを解決する半歩先の大型車整備機器を多数出展いたします。

5/14(木)・15(金)・16(土)  
 会場:パシフィコ横浜

10:00~18:00(5/16のみ17:00まで)

ANZENブース:B-53



### TOPICS

ご声援よろしく  
 お願いします!

第8回  
 サービス技能コンクールを  
 開催いたします

7/8(水)・7/9(木)

会場:大田区産業プラザPiO(東京都大田区)



バックナンバーは「WEB CHARGE」に掲載しております。お時間のある時にぜひご覧ください!



**ANZEN** 〒108-0023 東京都港区芝浦4-16-25  
**安全自動車株式会社** TEL(03)5441-3412 FAX(03)5441-8848  
 ANZENホームページ <https://www.anzen.co.jp>

- |                              |                               |                              |                              |                              |                               |                              |                              |                              |                               |                             |
|------------------------------|-------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 札幌支店<br>TEL(011)511-6241(代)  | 仙台支店<br>TEL(019)637-8711(代)   | 盛岡支店<br>TEL(029)355-2725     | 新潟支店<br>TEL(025)382-5815     | 東京支店<br>TEL(043)284-2800(代)  | 名古屋支店<br>TEL(076)248-0499(代)  | 大阪支店<br>TEL(078)265-0375(代)  | 神戸支店<br>TEL(082)832-3630(代)  | 福岡支店<br>TEL(099)213-0762(代)  | 南九州営業所<br>TEL(099)213-0762(代) | 松本安全<br>TEL(0263)45-2181(代) |
| 札幌営業所<br>TEL(0154)24-0161(代) | 仙台営業所<br>TEL(019)637-8711(代)  | 盛岡営業所<br>TEL(029)355-2725    | 新潟営業所<br>TEL(025)382-5815    | 千葉営業所<br>TEL(043)284-2800(代) | 名古屋営業所<br>TEL(076)248-0499(代) | 大阪営業所<br>TEL(078)265-0375(代) | 神戸営業所<br>TEL(082)832-3630(代) | 福岡営業所<br>TEL(099)213-0762(代) | 南九州営業所<br>TEL(099)213-0762(代) | 松本安全<br>TEL(0263)45-2181(代) |
| 郡山営業所<br>TEL(022)236-1211(代) | 宇都宮営業所<br>TEL(028)635-8821(代) | 高崎営業所<br>TEL(027)384-3001(代) | 高崎営業所<br>TEL(027)384-3001(代) | 横浜営業所<br>TEL(045)391-9913(代) | 静岡営業所<br>TEL(054)236-5066(代)  | 岡山営業所<br>TEL(086)434-0259(代) | 高松営業所<br>TEL(087)843-6531(代) | 福岡営業所<br>TEL(092)623-4646(代) | 沖縄営業所<br>TEL(098)876-3873(代)  | 松本安全<br>TEL(0263)45-2181(代) |

保守点検のおすすめ ANZEN製品を長くご活用いただくため、保守点検サービス(有料)のご利用をおすすめします。お近くの支店または営業所までお問い合わせください。

ANZEN カスタマーサービス 0120-01-6361 当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記へ。(受付時間:月~金 AM9:00~PM5:00)

ANZEN で 検索  
<https://www.anzen.co.jp>

- 発行所/安全自動車株式会社 営業企画部 販促企画グループ 東京都港区芝浦4-16-25
- ANZEN NEWS CHARGE 111号(2026年4月発行)
- ※外観・仕様は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

最新の業界情報をお届け! ▶▶▶  
**ANZENメルマガ会員募集中**  
 詳しくは ANZEN ニュース で 検索



# 自動車整備の最新がわかる ANZEN NEWS



# CHARGE



USER REPORT 大型 P.02  
 東京自動車興業株式会社 ボルボ・トラック東関東

## 新商品のご紹介 P.12

ファンタスIIプラス BSC35KUVL  
 ファンタスIIベーシック MBSC32KUVL

小型タイヤリフター ATL-60EG

昇降式インパクトハンガー NRH-H

## TOPICS P.12

JAPAN TRUCK SHOW  
 ジャパントラックショー 2026

第8回 サービス技能コンクール

2026 Spring  
 VOL. 111

International Auto Aftermarket EXPO 第23回 国際オートアフターマーケット EXPO 2026に出展いたしました! P.06



## 新人メカニック必見!

機器の正しい取り扱い方 P.10



## TOPICS 本年8月1日より、前照灯検査はロービーム測定完全施行 ヘッドライトテスターの入れ替えで落検のリスクヘッジと作業効率アップ



2015年9月以降、車検の前照灯検査は、ロービーム(すれ違い用前照灯)による計測とする新基準が導入され、当初は2024年8月1日からの完全施行が予定されていきました。しかしながら、整備業界関係者から様々な意見が寄せられたことから、一部の地域に限り、移行期限は最長2年間延長されることになりました。その移行期は本年7月末日をもって期限を迎えることになり、8月1日以降の前照灯検査はいよいよロービームによる測定が完全施行となります。

トテスターを用いた検査ではエルボー点やカットオフラインが不明瞭になるケースとともに、車両とテスターが正対できていない状況でも光度不足などが発生する場合があります。旧式のヘッドライトテスターをご使用のお客様は、是非この機会に入れ替えされることをお勧めします。

ロービーム計測の対象自動車 1998年(平成10年)9月1日以降に製作された自動車(二輪車、側車付二輪車、大型特殊自動車及びトローラーを除く)

すでにロービーム検査に移行した地域では、光度不足などにより、検査不合格になるケースが発生してきました。これらは経年により劣化しているヘッドライトレンズや、リフレクターの劣化で配光が適正でないヘッドライトなど車両側の問題もさることながら、老朽化したヘッドライ

## ANZENがご提案するヘッドライトテスター



カラー画像処理方式全自動ヘッドライトテスター(HL1-2023) カラー画像処理方式手動ヘッドライトテスター(HL1-223) スクリーン方式ヘッドライトテスター(HL-223S)



# 東京自動車興業株式会社 ボルボ・トラック東関東

## トラクターヘッドを中心とした整備工場を持つ 日本初のボルボ・トラック専門ディーラー



### 店舗情報

東京自動車興業株式会社 ボルボ・トラック東関東  
千葉県千葉市稲毛区長沼町342-2  
TEL : 043-307-9735  
従業員 : 15名  
(メカニック8名)  
敷地面積 :  
4,636.41平方メートル



### 今回お話を伺った方



代表取締役社長  
園分 秀太 様



ボルボ・トラック東関東  
サービスマネージャー  
梁 徳権 様

首都圏で大型車の整備・修理を中心に手がける同社は、2000年より新車販売も含むボルボ・トラックの正規ディーラー事業を開始。国産事業部と钣金センターを併設する同社千葉店(千葉県千葉市稲毛区長沼町301-1)内で運営され、2025年までの25年間でボルボ・トラック車の累計販売台数は500台、管理台数は200台以上に達しました。また、1946年の創業より80周年を迎えるにあたり、「次の100周年を目指した大きな投資」(園分社長)として「ボルボ・トラック東関東」の拠点を独立・移転。同じ長沼町内で2026年1月5日に新築オープンしました。

なお、他ブランドを併売しないボルボ・トラック専門の店舗は、この新しいボルボ・トラック東関東が日本国内初となります。そして、屋内に実車を展示するショールームを併設した店舗であることも、日本国内の大型車ディーラーでは類を見ない、同店ならではの特徴となっています。これは「営業サイドから強い要望があり、私が営業担当の頃にも『天候を問わず実車をゆっくり見てもらえるのがお客様にとって一番良い』と感じていた」(園分社長)ことが、大きな契機になったといいます。建築設計は、安全自動車からの紹介で大型整備工場の実績豊富な青島設計にお願いしました。

「女性スタッフの意見も採り入れながら作った」という同店のショールームおよび事務所は、「ボルボ・トラックならではの背が高いキャブを2階から見下ろせるという点でも特徴的」で、北欧デザインのモダンで明るく上質な調度類も、入庫するドライバーはもちろん、見学に訪れる同業他社からも好評です。

そしてサービス工場は、「ボルボ・トラックを担当するのが夢だった」という梁サービスマネージャーの想いが詰まった設計となっています。日本国内での取扱車種が大型トラックに絞られており、かつ「新車販売の9割5分以上がトラクターヘッド」(園分社長)というボルボ・トラックの特性に合わせ、天井が高く取られ、ドライブスルーも可能とした整備ストールには「4柱ツインパワーリフト(縦列対応)」2基と、「2分割フロアリフト」1基を導入。また指定自動車整備工場への移行を目指し、完成検査場にはトータル車検ラインシステム「ラインマスター」など車検機器を完備しました。このうち「4柱ツインパワーリフト」は車検・点検、「2分割フロアリフト」はエンジンオイル交換などクイック整備のほか、トランスミッションのクラッチオーバーホールなど重整備にも活用されています。

そして、1ストールあたりトラクターヘッド2台を同時に入庫可能とし、メカニック1人が並行して整備。また「回転工具台車」と主要工具を各ストール間に配備・共有することで、「例えば2台分のタイヤ脱着を一度に行い、工具持ち替え回数低減や動線短縮を図っています」(梁サービスマネージャー)。

これらの工夫の結果、「千葉店ではお断りせざるを得なかった分の入庫を受け入れられるようになった」というボルボ・トラック東関東。「2028年までに年間入庫台数1300台、管理台数300台を目指したい」(園分社長)というその目標は、早期に達成されることでしょう。

### ショールーム/事務所



▲大型車ディーラーでは類を見ない、トラクターヘッドを展示可能な屋内ショールームとボルボ・トラック東関東スタッフ(上)。応接室やドライバーの休憩室がある2階からショールーム全体を望め、ボルボ・トラックならではの背の高いキャブも確認できる(右)



▲屋上はウッドデッキや人工芝が敷かれた憩いの場。柵の向こう側には太陽光パネルを設置



▲明るくモダンな北欧家具が高級車ディーラーらしい落ち着きと上質感を醸し出す休憩室



▲メカニック用更衣室には常に清潔さを保てるように洗濯機とシャワールームを完備



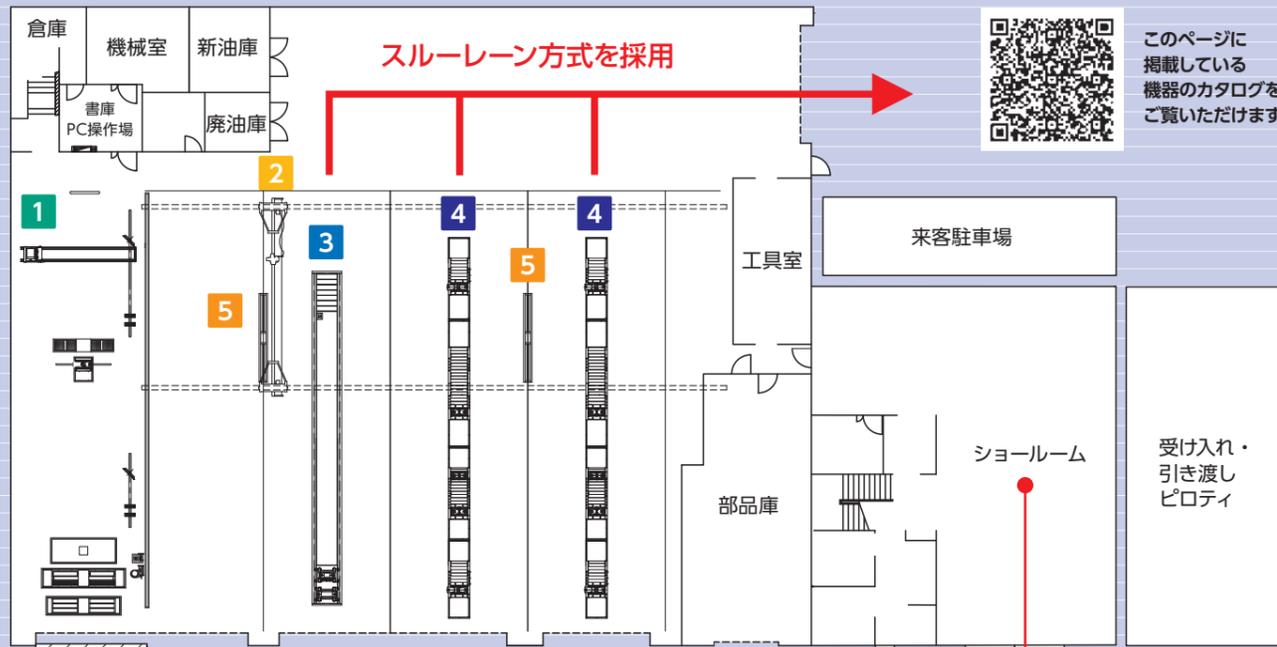
▲スタッフ用の大会議室。写真奥側の壁面は可動式で、小会議室とつなげることもできる



▲キッチン付きの食堂も、同社スタッフのこだわりが詰まった北欧デザインのモダンな空間

図面でわかる！  
ここがポイント！

リフト納入で導線最適化を実現した最新サービス工場



このページに掲載している機器のカタログをご覧ください

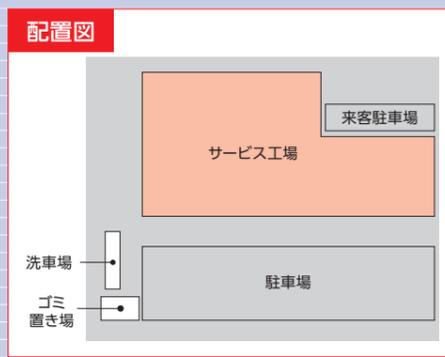


- 完成検査ライン**
- 1 完成検査ライン(ラインマスター+手動式ヘッドライトテスター+サイドスリップテスター+BSテスター+フリーローラー+軸重計)
  - 2 天井走行クレーン×1基
  - 3 2分割フロアリフト×1基
  - 4 4柱式ツインパワーリフト(TWPF60N)×2基
  - 5 自立式リール架台×2基
- 洗車場**
- その他 回転工具台車×4基、大型専用タッテラー Z×8基

**工場をぐるっと紹介**

動画はこちら

ショールーム、事務所、最新のサービス工場を紹介した動画もぜひご覧ください！



**営業担当者のココがポイント！**

本工場は、日本初となるボルボ・トラック専用整備拠点として、構想段階から数年をかけて計画されてきました。限りある敷地の中で、整備工場としての面積や導線、駐車場配置まで関係者全員で時間をかけて検討したことは、今でも強く印象に残っています。入庫車両の多くがトラクターヘッドである点を踏まえ、建物レイアウトからリフト仕様まで丁寧にヒアリングを重ね、最適な設備構成をご提案できたと感じています。また東京自動車興業様の“働く人に寄り添う”温かいご対応が、現場を進めるうえで大きなモチベーションとなりました。設備導入はゴールではなくスタート。今後もお客様の整備効率向上と収益最大化に向け、継続的にサポートしてまいります。

左：サービスマネージャー 梁様  
中央：代表取締役社長 園分様  
右：千葉営業所 加藤



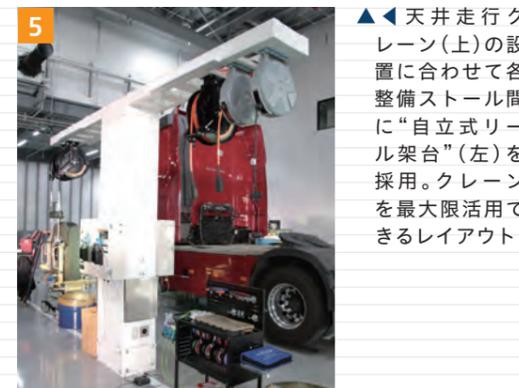
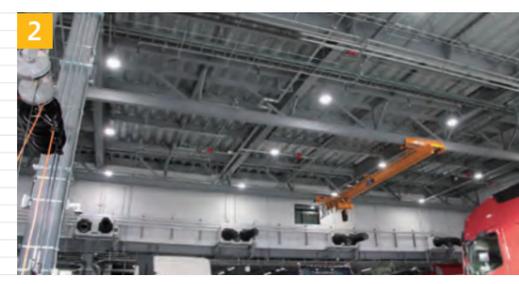
▲サービス工場側から見た店舗全景。工場前のシャッターは車両の入出庫時以外は閉め、近隣住宅への騒音低減と冷暖房効率向上を両立



▲“ラインマスター”など最新の車検機器を完備した完成検査場。右側には隔壁を設置



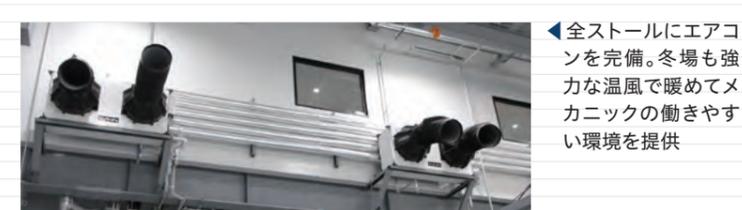
▲サービス工場内全景。入庫した車両はバックすることなく、右写真のシャッター側から出庫可能



▲天井走行クレーン(上)の設置に合わせて各整備ストール間に“自立式リール架台”を採用。クレーンを最大限活用できるレイアウト



▲4柱式ツインパワーリフト“2基で4台のトラクターヘッドを同時に点検整備可能とした



▲全ストールにエアコンを完備。冬場も強力な温風で暖めてメカニックの働きやすい環境を提供



▲2分割フロアリフトは2台同時のクイック整備と重整備のいずれにも安全に対応できる



▲“タッテラーZ”を用いて大型車のダブルタイヤも立ち姿勢のまま腰に負担をかけず交換



▲収納性の高い“回転工具台車”を納入

ANZENブースで出展した  
商品をご紹介します！



自動車アフターマーケットの総合展示会  
「国際オートアフターマーケットEXPO」(IAAE)が  
2026年2月12日～14日の3日間、東京ビッグサイトで開催。  
ANZENは前年以上の規模で出展し、  
最新の整備機器を多数展示しました！



リフト



バッテリー内蔵・キャスター付きのため  
設置工事不要、平らな場所ならどこでも  
使える「モバイルコラムリフト」

オイル機器

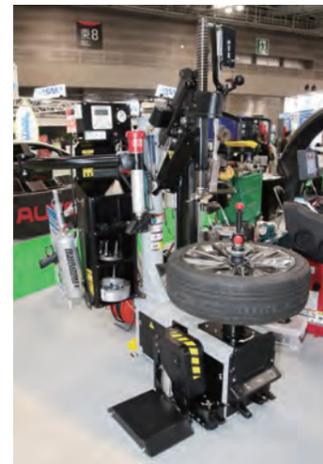


抜き取り・注入を自動化し実工数を  
約15分削減できる「エンジンオ  
イルオートチェンジャー」



エア源があればどこでも吸引・  
圧送できる移動式半自動  
オイルチェンジャー「配管い  
らず」

定回り機器



センターロック式かつリフター付  
きで力が要らないタイヤチェン  
ジャー「WING CL-121A」



力が均一なエアロック採用で塗装  
損傷を抑えるホイールバランサー  
「サーキット7435Air」



立ち姿勢のまま脱着を可能にする電動タイヤリフター  
左:「乗用車用タイヤリフター」  
右:「大型車用タイヤリフター」



ユニットを大型車の  
ホイールナット1か所  
にセットするだけで  
緩みを検知できる  
「天護風雷」



2人作業を1人で可能にする  
省力化機器  
左:「パワーランチ用反力受け  
スタンド」  
右:「チャンバーセッター」

バッテリーテスター



駆動用バッテリー関連事故を防ぐ「EVイモビライザー」「漏電測定器」などを  
参考出品

電動工具



着脱式リチウムイオンバッテリーを用いたマキタのコード  
レスハンドツールを多数披露

環境機器



塗装面に被せ加熱すれば花粉を約  
30分で除去できる「花粉シミバス  
ター」



酷暑にも極寒にも対応し車輪付きで  
移動も簡単な「くっぴーバズーカE X  
一体化セット」

リール

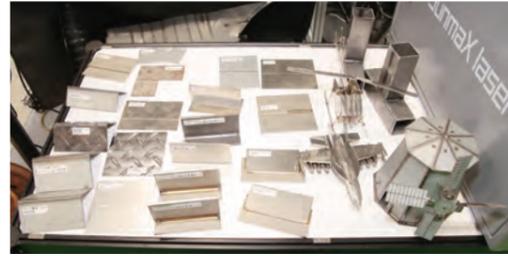


リールの暴れを抑えて周囲の車両やリール自体の損傷を  
未然に防ぐ「スローモーションリールシリーズ」

溶接機器



2025年のオートサービスショーで初披露して以来ご好評いただいている「ファイバーレーザー溶接機」。同製品は光を熱源とし、レーザー切断機の技術を応用。局所的に熱が入るため溶け込みが深く、歪みが発生しにくい。また、アルミニウムなどの高反射素材でも溶接できます。また、ワイヤーノズルを変更し照射幅を絞れば切断加工、塗膜やサビの除去、いずれも可能になる優れたものです。



洗浄機器



曲面にノズルを当てても水が漏れず使用後の拭き取りが不要な「らくらく 3D 温水リンサー」



純水精製と高圧洗浄を兼ね備え洗車後のウォータースポット発生を防ぐ「純水洗浄機」

NEW

背の高いトラックもらくに手洗ができる！  
WASHMAN FOR TRUCK

多くの作業時間を必要とし、身体的負担も怪我のリスクも大きい手洗い洗車を劇的に快適にする「WASHMAN」シリーズ。今回は背が高く面積も大きいトラック向け「WASHMAN FOR TRUCK」での作業実演を用いたプレゼンを行いました。



約3.8mまでリフトアップしても、4段階伸縮が可能な「トラックモップ」を使えば最上部まで洗浄可能



トラックモップ先端に装着するクロスは容易に脱着可能。シャンプー洗車には「ウールロールクロス」(上)、拭き取りには「タオルロールクロス」(左)を使用

プレゼン実施



市販カートに取り付ければキット一式を効率良く運用可能

NEW

故障診断、ホイールアライメント計測・調整、  
ADASエーミングが1台で完結！

IA1000WA

プレゼン実施



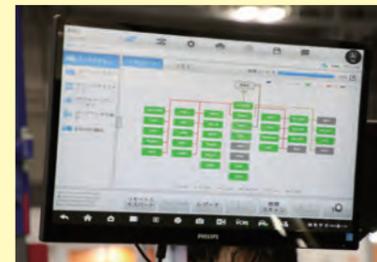
衝突被害軽減ブレーキ装着義務化や特定整備制度施行などを経た今、ADASエーミングに加え故障診断とホイールアライメント計測・調整も不可欠です。この3つを1台で解決する「IA1000WA」を用いた各作業を実演しました



スキャンツール、自動調整可能なカメラ付きフレーム、ターゲット用ランプなどで構成



新発売の「マキシシスウルトラS2」をはじめ、オートテル社製の各種スキャンツールも展示



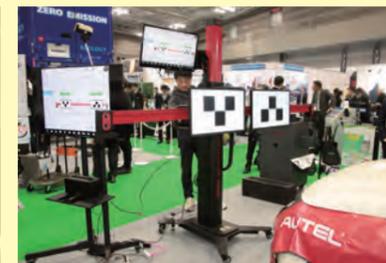
故障コードが発生していない箇所は緑、ある箇所は赤で表示



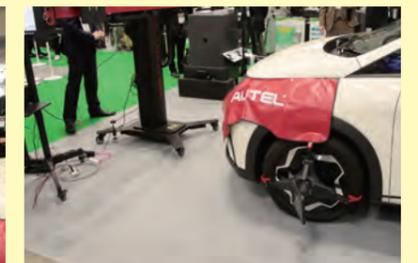
ホイールアライメント計測を行う前に、画面の指示に従って車両の位置を微調整するなどの下準備(左)。計測後(右)はカーメーカーの基準値を超えた箇所が赤で表示される



ホイールアライメント調整は項目ごとに具体的な作業方法がイラスト表示される親切設計



ADASエーミング用ターゲットはモニター表示も可能だが実物も取り付けられる



360度Viewカメラ用ターゲットの設置位置はレーザーポインターで自動的にガイドされる

「第24回 国際オートアフターマーケット EXPO 2027」出展決定！

日程：2027年 3月10日(水)～12日(金)

# 新人メカニック必見!

## 機器の正しい取り扱い方

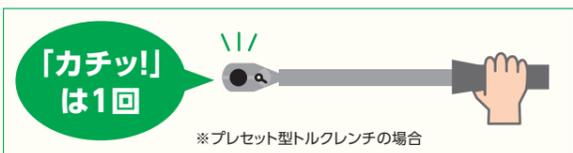
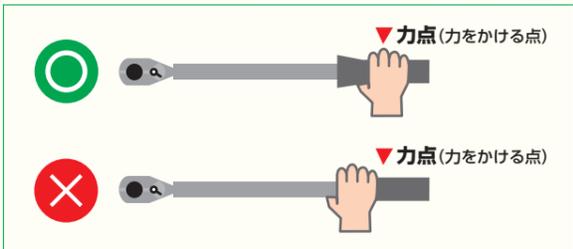
整備機器は正しく扱うことで性能を発揮し、安全が守られます。  
特にトルクレンチ・エアゲージの「精度管理」と、リフト・門型洗車機の「安全操作」は、事故防止に直結する重要項目です。  
本特集では、機器の正しい取り扱い方法をわかりやすくまとめました。  
「新人教育の補助資料」として、また「安全啓発ツール」として、ぜひご活用ください。



**トルクレンチ・エアゲージは正しい使い方をしなければ  
正確な数値を測れません**

### トルクレンチ

- ① **正しい力点(グリップの中央)を持って使用する**  
回転軸から力点までの距離が変わると正確なトルク測定はできません!
- ② **「カチッ」と音がしたらそれ以上は締め付けない**  
何度も締め続けるとオーバートルクになります!  
※プレセット型トルクレンチの場合
- ③ **測定後は測定範囲の最低値にセット**  
内部のスプリングに負荷がかかり続け測定精度低下の原因になります!
- ④ **高温・多湿・ほこりなどは避けた場所で保管**  
錆やほこりで測定精度が低下する場合があります!



### エアゲージ

- ① **タイヤが冷えた状態で測定する**  
車を使用した直後は摩擦熱によって空気圧が上がっているため、適正量との誤差が生じます!
- ② **エアコンプレッサーの水抜きをおこなう**  
エアコンプレッサーの水分がエアゲージにも回り、ホイールの錆の原因に!



定期的な  
精度チェックが  
必要な機器です

### トルクレンチ、エアゲージの精度は大丈夫ですか?

正しい精度に管理することも事故を防ぐうえで不可欠な要素です。

**精度チェックはANZENサービスマンにお任せください!**

チェッカーを持参し、訪問いたします。



**使用頻度の多いリフト、門型洗車機は正しい使い方をしなければ  
重大な事故を起こす可能性があります**

### リフト

- ① **車両に適した純正アタッチメントを使用する**  
車が落下し重大な事故につながります!

**事故事例** リフトアームがエアロパーツと接触しないように木材を重ねてリフトアップしたところ、車両が不安定となり落車。車両の下敷きになり作業者が挟まれ死亡

- ② **タイヤが完全に浮いたら車体を揺すって安全性をチェック**

- ③ **ピット内に異物や排水を入れない**

**事故事例** リフト付近で溶接作業を行おうとしたところ、爆発事故が発生。床清掃等で水を流していたところピット内にヘドロが溜まり可燃性ガスが発生し、火の粉が着火したためと思われる



### 門型洗車機

- ① **洗車可能な車両が確認する**  
車両破損の恐れがあります!
- ② **オプションパーツの選択を確認する**

**事故事例** 洗車中、トップブラシがリヤスポイラーに接触して破損した。車両の装備品を正しく選択せずに洗車を開始したことが原因



「この程度は大丈夫」の判断が事故や業務停止に繋がります

**正しい取り扱い 日常点検・定期点検** を行い、**事故や故障を防ぎましょう!**

**日常点検**

各機器の詳しい日常点検ポイントは、「メンテナンスガイドブック」に掲載されています。下記の二次元コードからもご覧いただけます。



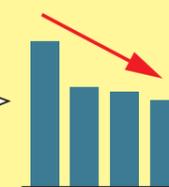
PDFはこちら



**定期点検**

有資格者によるプロの目線で機器をチェックすることで、事故の予防、突発的な故障による急な出費を抑えることができます。

実際の事例：大型車カーディーラー様  
3年前から定期点検を実施。点検後修繕を行ったことで、4年目には初年度と比べ**要修理判定が4割減**。



### 整備作業中の事故を防止する安全機器!

**リフト挟まれ防止センサー ALB-L (P)**

レーザー測域センサーでリフト操作者の死角にいる人やモノを検知。リフト下降を停止し、挟まれ事故を未然に防止



動画はこちら



**エアホースリール用 あばれ防止カバー TRP-100A/130A**

ホースのパンクによるあばれを防止。作業者の怪我、車両や建屋の破損事故を防ぎます!

